

【令和5年度上期 顕彰先一覧 7先】

助成先名	業種	助成事由
オカダ医材(株) 《最優秀賞》	医療用機械卸売業	歯科矯正用アンカースクリュー「i-station α」の開発。一般的な唇側矯正治療と違い矯正装置が見えないため、人目が気にならない、従来のアンカースクリュー矯正は一方にしか動かせないが、3次元的に動かせることから難しい症例でも正確に矯正できる、矯正パリエーションが増え、幅広く患者のニーズにマッチする治療法。 治療をあきらめていた方の治療促進や患者の負担軽減から、約20年前前に当社の代表取締役会長である岡田氏と(社)日本先進矯正歯科学会会長の齊宮氏の開発により、会長自ら矯正臨床に臨み完成した商品であり、当社の熱い思いがこもった商品である。先行モデルの「i-station」は6,000症例以上の矯正臨床に使用されており、昨年より更に進化した「i-station α」を販売。国内で約40百万円販売、現在は海外向けの国際特許審査中であり、今後は海外展開も目指している。
(株)谷口化学工業所	靴関連製品製造・卸売 塗料製造	日本最古の靴クリームメーカーが生み出した新たなDIY塗料「クロマニオンペイント」を開発。「誰でも」「手軽に」「心地よく」をコンセプトとしたスポンジ付の塗料。今までの塗料は刷毛で塗る概念を覆し、特別な道具なく簡単に塗装が可能。使い切れるサイズ感で多色展開。準備、片付けの手間がない。また、香料を配合したことで、塗装中でも良い香りに包まれ、室内での塗装に最適となっている。開発に至った背景は、DIY関連商品を取り扱うホームセンター業界の躍進に加え、コロナ禍による巣ごもり需要の増加等の要因から、今までにない木材塗料を開発しようと着手に至ったもの。令和3年10月から販売開始、売上は年間300万円となっている。取引のないホームセンターや生活雑貨店に加え海外輸出への営業活動も強化している。
(株)地盤試験所	土木建築サービス業	「洋上風力産業への進出」 主力業務は建物や構造物を支えるために地中に打ち込む杭の支持力試験。構造物に応じた杭基礎の提案、試験方法の提案、実施計画、試験実施、結果解析評価まで一貫対応体制が整備されており、国内(陸上)での地盤調査、載荷試験ではNo.1である。 国内建設投資は減少基調にあり、得意としてきた陸上での地盤調査も運動して減少。政府は国策として洋上風力及び関連産業の育成に本腰を入れる方針が決定する中、陸上で培った技術・経験・実績により編み出した技術「ハイブリッドナミック試験工法」を洋上用にカスタマイズ、シミュレーションを繰返し、改良を加えパッケージ化に成功し、これまでの「陸上」から「海上」への未開発分野への進出を果たしたものです。
ワヨー(株)	店頭広告用POP等 製品製造	脱プラスチックを目指した燃やせるPOPパーツの開発。店頭販促物の多くにプラスチックが使われている理由は、軽い、強度がある、安価で大量生産が可能であること。しかしながら分別されないごみとして処分され、焼却か埋め立て等による処理が大半である。そこで商品の材質を紙プラスチック、PLA(生分解性バイオマスプラスチック)、バルカナイズドファイバー、植物性レーヨン紐等天然素材の使用に変更することにより、生産から処分までのトータルで二酸化炭素を増やさず、SDGs目標13「気候変動に具体的な対策を」に合致。海洋汚染や埋め立てなどで残存することによる環境負荷を軽減することが可能となりSDGs目標14「海の豊かさを守ろう」にも貢献している。
(株)エイチアンドエイ	かばん卸売	破棄予定の残革や車のエアバッグを利用し、オリジナル商品を生産。SDGsへの取り組みとして、破棄されるはずだった残革や車のエアバッグなども利用しバッグや小物などを生産し販売している。資源の有効活用と循環型社会の実現につながることも、環境負荷の削減にもつながる。レザー商品は革の風合いや色にこだわり、エアバッグ再利用商品は、同じ型のないオンリーワン商品として人気。また、SDGs「消費と生産の持続可能性」に対する取組みとしても位置づけられ、社会的な責任を果たす企業を目指すとともに、当社の強みを活かしたデザイン性やオリジナリティ溢れる商品に対し、メディア「ニュース番組Zip」にも取り上げられ、注目が高まっている。
(株)東さく技工	さく井工事業	ディーブウエル工法による土壌・地下水汚染の削減を実現。掘削時に湧き出る水を下水道に流して処理する工法が多く、下水道使用料が高むことが多いが、ディーブウエル工法は汲み上げた水を再度地下に戻す排水処理工法であり、下水道を使用せずに工事を施工することから、土壌・地下水汚染の削減により、環境改善に寄与している。法人設立80年超の実績から膨大な地質データを保有しており、取引先からの信用度も高い。さく井工事に関するコンサルティング機能も保有、トータルで提案することができ、他社よりも費用を抑えて工事することができる。近年はビルの地下に災害対策用の井戸を建設するケースが多く今後も市場でのニーズは高い。
シェアクレスト(株)	受託開発ソフトウェア	市役所HP等に避難所案内などのリンクを追加し、避難場所の混雑状況の把握が容易にできる住民サービスの一環として「らくらく避難所」を開発。住民側からは、災害発生時に避難所の混雑状況を把握することで、「密」ではない避難所を選ぶことができる。パリアフリー施設、トイレ、飲食等の状況も検索可能。自治体側からは、避難所での住民受付業務負担の軽減が図れ、住民の安全状況が確認でき、かつ避難民の場所の特定も行える。災害での死亡リスク、避難民のストレスを抑えるソフトウェアです。現在43市区町村からの問合せがあり、デモ版利用が7市区町村で利用されており、今後多くの導入も期待できるもの。